

平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	134	次世代アントレプレナー人材育成推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(5)-ウ			
担当部課名	商工労働部産業政策課	事業実施(予定)年度	平成 27 ~ 29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	起業家マインド(アントレプレナーシップ)を有する人材を継続的に育成・輩出するための仕組み作りを推進する。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,920	0	34,400	0	34,200
		(b) 予算現額	28,920	0	34,400	0	34,200
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	28,920	0	34,400	0	34,200
	B. 執行済額		24,605	0	30,463	0	31,096
	うち交付金充当額		19,684	0	24,370	0	24,877
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		85.1%	#DIV/0!	88.6%	#DIV/0!	90.9%
予算の状況の説明		・執行率は90.9%であり、委託料の節減(2,903千円)によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	大学等に講師及びメンターを派遣し講義及びセミナー等を実施する	目標		80回	50回	50回	
		実績		166回	180回	217回	
	ビジネスプランコンテストへの支援	目標		支援実施	支援実施	支援実施	
		実績		支援実施	支援実施	支援実施	
	ビジネスストライアルプログラム(イベント出店体験)の実施	目標		ビジネスストライアルプログラムの実施	ビジネスストライアルプログラムの実施	ビジネスストライアルプログラムの実施	
		実績		ビジネスストライアルプログラムの実施	ビジネスストライアルプログラムの実施	ビジネスストライアルプログラムの実施	
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等に講師及びメンターを派遣し、講義及びセミナー等を217回実施した。</li> <li>・ビジネスプランコンテストを実施し、参加した8チームに対し、ビジネスプランのブラッシュアップ等の支援を行った。</li> <li>・ビジネスストライアルプログラムを実施し参加した6チーム34人に対し、「事業計画策定」「販売活動」「決済処理」といった企業活動の一連の流れの実践・体験をととして、ビジネスマインド向上等の支援を行った。</li> </ul>					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	27年度	28年度	29年度
①本事業による講義受講者及びセミナー等人材育成プログラム参加者		目標		1,000人	1,000人	1,400人	-
		実績		1,346人	2,508人	2,042人	-
②アントレプレナー人材育成に関する大学等間の情報の共有化		目標		情報の共有化	情報の共有化	情報の共有化	-
		実績		情報の共有化	情報の共有化	情報の共有化	-
③参加する大学等の数		目標		4校	6校	8校	-
		実績		8校	6校	3校	-

	【H30成果目標】 新たなベンチャービジネス等の起業・事業化	目 標				年間1社 (事業) 以上
	進捗状況説明	①平成29年度は自主講座、ビジネスプランコンテスト及びトライアルプログラムの実施に注力し、本事業のプログラムには累計2,042名が参加し目標を達成した。 ②沖縄産学官協働人材育成円卓会議における本事業の紹介、有識者委員会の開催や、県外からの講師招聘、沖縄県産業振興公社等と連携を図るなど、ネットワークの促進や情報の共有化を行った。 ③平成29年度は大学3校(琉球大学、沖縄大学、沖縄女子短期大学)で起業家育成講座等を実施した。昨年度から参加校数は減少したが、新たに沖縄大学にて講座等を開催した。				

H29-No.134

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		①起業までの支援、起業後の支援が不足している。 ②アントレプレナー人材育成を支援する人材が不足している。

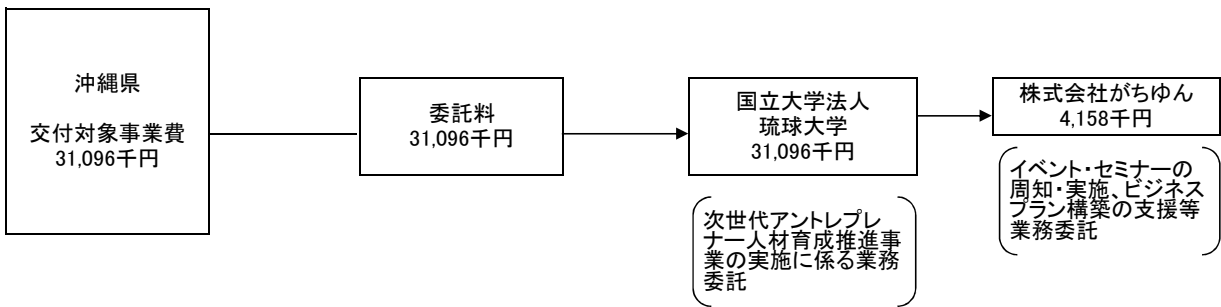
今後の取り組み方針

①支援対象者を学生から社会人まで広げ支援対象期間を延長し、引き続き各大学等への事業周知及び講座実施の要請を行い、アントレプレナー人材育成の育成に努める。 ②メンター連絡会を設置し、起業家支援、ベンチャー企業支援を担う関係機関、他事業、民間企業と連携を強化し、適切な支援を実施する。
---

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
31,096	31,096	24,876	6,220	0	0	0



評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により受託希望者を公募し、選定委員会において決定しており、妥当であったと考えている。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっている。
	- 受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	